

あくね 市議会だより

第1回定例会

第1回定例会総括……………2

一般質問……………10



NO.189

平成28年5月17日
編集 / 広報広聴委員会
発行 / 阿久根市議会
TEL 0996-72-0815
FAX 0996-72-2029

航海安全と豊漁を願う

旧三月十日祭りの船団パレード（黒之浜区）



阿久根市議会

第1回定例会

○平成28年度 一般会計予算

総額 **106億6千万円**

○特別会計予算

総額 約**81億148万円**を可決

平成28年第1回阿久根市議会定例会は平成28年2月26日から3月25日までの日程で開きました。

本定例会では、市長の施政方針のあと、平成27年度補正予算7件、平成28年度当初予算7件、条例関係については、空家等対策協議会条例、職員や市長等の給与条例の一部を改正する条例、市議会議員の報酬等の一部を改正する条例の制定を含む11件が提案され、いずれも原案のとおり可決しました。

平成28年度特別会計予算額

- ・国民健康保険特別会計予算
42億1千38万円
- ・簡易水道特別会計予算
6億4千6百95万円
- ・交通災害共済特別会計予算
3百79万円
- ・介護保険特別会計予算
29億2千6百4万円
- ・後期高齢者医療特別会計予算
3億1千4百31万円

平成28年度水道事業会計予算

4億4千7百4万円

また、平成28年度から5年間の地域の発展や市民福祉の向上を図るための過疎地域自立促進計画は、特別委員会で審査を行い、原案のとおり可決しました。

陳情等については、阿久根商工会議所から提出された「南九州西回り自動車道サービスエリア等建設に関する請願書」、及び「新規創業者を支援する補助金の創設の陳情書」ほか1件を採択しました。また、「九州電力への厳正な指導・監督を求める意見書」ほか2件の意見書を可決し、陳情2件・意見書1件を継続審査としました。



市営寺山住宅6号棟建設予定地

平成28年度予算に対する総括質疑

主な質疑内容を紹介します。

（一般会計予算）

問 畜産業費の北薩のめぐみ魅力アップ支援事業の内容は。

答 地元の牛肉などの農林水産物を使って地域の活性化を図るため、バーベキュー大会を実施する。

問 庁舎管理費の電気料金を節約するため新電力を含む検討は。

答 県内各自治体の現状を把握し、より安価に電力を調達できるよう検討していきたい。

（介護保険特別会計予算）

問 高齢者元気度アップポイント事業の内容は。

答 健康づくりや社会参加活動を行った高齢者の個人に対して、地域商品券等に交換できるポイントを付与する事業である。

予算委員会を新たに設置

当初予算は、これまで特別委員会で審査してきましたが、今定例会から予算委員会を常任委員会として設置し、補正予算を含めて予算の審査を行うことになりました。

特別委員会の設置

過疎地域自立促進計画調査特別委員会（平成28年度から平成32年度の過疎地域自立促進計画の審査を行うための特別委員会）

議長を除く議員15名

委員 長…岩崎健二議員

副委員長…白石純一議員

懲罰特別委員会（3月3日の竹原信一議員の発言に関する懲罰特別委員会）

委員 長…濱崎國治議員

副委員長…西田数市議員

委員

- ・渡辺久治議員・濱田洋一議員
- ・野畑 直議員・大田重男議員
- ・牟田 学議員・山田 勝議員

竹原信一議員に対する懲罰の件についての特別委員長報告

本会議における竹原信一議員の発言の内容が、市議会議員として不適切な内容で、地方自治法の規定に抵触し、阿久根市議会の信用を失墜させたとして、同議員に対する懲罰を求める動議が2件提出されたため、特別委員会を設置して審査を行いました。

①平成27年12月9日の竹原信一議員の発言に関する審査を、同年12月21日、同月25日及び平成28年2月9日に行いました。

まず、発言内容が懲罰に該当するかどうかの審査に入り、委員の主な意見として、

- ・議場の場で、特定の個人・団体、公の組織等について、充分な客観的な事実や根拠のない、また示さない状況の中で、市民の誤解を招くような発言及び公人としてふさわしくない発言であり懲罰に十分該当する。

- ・行政、司法、立法を担う政治家の全ての方々が、不正、腐敗に関わっているかのような誤解を市民に与えるような発言である。

などの発言があり、全委員が、懲罰に該当する発言であるとの意見でした。

次に、懲罰の種類について、5名の委員が陳謝に該当するとし、2名の委員は戒告との意見であり、委員会としては、陳謝の懲罰と決定しました。

②平成28年3月3日の本会議においての竹原信一議員が、議会の議決により陳謝する際の発言が、阿久根市議会の信用を失墜させる内容であるとして、再度、懲罰の動議が提出され、3月8日及び3月17日、委員会を開催して審査した結果、竹原信一議員に対し戒告の懲罰を行うことになりました。

- ・委員の主な意見は、
- ・陳謝文の朗読の際、点、丸を読むなど不適切な朗読であり、また、議会の議決を愚弄する内容であり、懲罰に値する。

- ・再度の陳謝の際の不適切な朗読は、議員としての資質の欠如や本会議場での規則、ルールに反しており、懲罰は仕方がない。

- ・陳謝に関する発言はいかなるものかと思うが、再度朗読しており、懲罰に値しない。

などの意見があり、4名の委員が懲罰に値する、3名の委員が懲罰に値しないとの意見であり、賛成多数で懲罰に該当することを決し、最終的に全委員の一致で戒告の懲罰とすることに決定しました。

委員会での主な質疑内容

○産業厚生委員会

議案第17号、阿久根市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定について

問 消費生活センターの現在の相談内容の状況等を教えてほしい。

答 26年度は103件の相談があり、相談内容については、訪問販売に関するもの19件、電話勧誘販売に関するもの17件、催眠商法に関するもの1件、マルチ商法に関するもの2件、通信販売に関するもの13件などとなっており、相談内容の多いものについては、市報内に毎月消費生活相談コーナーを設け情報提供を行っている。また、集落の高齢者学級に出かけて啓発を行っている。所管課 商工観光課



市役所内にある消費生活センター

陳情第5号、精神障がい者の交通運賃割引を求める意見書提出を求める陳情書

審査の結果、全委員の一致をもって採択すべきものと決しました。

請願第1号、南九州西回り自動車道サービスエリア等建設に関する請願書及び平成27年陳情第14号、新規創業者（予定者）を支援する補助金の創設の陳情書については、参考人として、提出者である阿久根商工会議所会頭にも出席を求め審査した結果、本2件は全委員の一致をもって採択すべきものと決し、請願第1号については産業厚生委員会より意見書も提出しました。

○総務文教委員会

議案第9号、阿久根市行政不服審査会条例の制定について

問 第13条の審査会を行う調査・審議の手続きは、公開しないというところか。

答 審査会における審理の内容については、個人情報等が含まれる部分があり、個人の情報を保護するという観点で非公開ということになっている。所管課 総務課

議案第10号、行政不服審査法等の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について

問 誤って教示(※)した場合の救済措置の部分を教えてもらいたい。

答 審査請求先を誤って教示した場合など、期限である3か月を超えて請求があっても、3か月以内に請求が出されなかったことを理由に却下はできないものである。

所管課 総務課

※教示制度

審査請求の機会を失うことがないように文書等で知らせること。

議案第13号、市長等の給与に関する条例及び阿久根市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 市民の厳しい状況を見た時に、この議案に対し、市長は何か意見を言ったか。

答 国家公務員の特別職の職員等についての給与の改定等が行われた場合、市の特別職三役と議員の報酬等についても引き上げを行っており、今回職員に合わせて特別職の改定もあり、それについて特段市長のほうから何もなかった。

所管課 総務課

※今回の議案は、市長等及び議員の12月の期末手当を100分の5か月分増やし、給与に関して、市長10%、副市長8%、教育長7%カットするもの。

議案第14号、一般職に属する職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 削減が、総額2350万円カットになるが、市民に対してどう活かされているという説明をするのか。

答 カットした分は、地域の活性化、まちづくりに活かすことを市長は常々言っている。

所管課 総務課

意見書第2号、九州電力への厳正な指導・監督を求める意見書について

審査の結果、全委員の一致をもって可決すべきものと決しました。

陳情第3号、鹿児島県知事に対し、九州電力に川内原発の免震重要棟の早期建設を求めるよう要請する陳情、陳情第4号、九州電力に対し、川内原発の免震重要棟の早期建設を求める意見書の採択を求める陳情書、意見書第1号、九州電力川内原子力発電所に免震重要棟を早急に建設することを求め

る意見書の3件は、継続審査としました。

○予算委員会

〈平成27年度補正予算〉

議案第1号、平成27年度阿久根市一般会計補正予算(第5号)

問 選挙管理委員会事務局の残業は、1年間に何人で残業手当総額はいくらか。

答 県議会議員選挙費が8名で39万2696円、阿久根市議会議員選挙費が延べ4名で17万2027円であり、合計で8名の56万4723円である。

所管課 選挙管理委員会事務局

問 イノシカ肉流通対策事業と、農政課の鳥獣対策事業とやっていることは、同じと思うが、違いは何か。

答 イノシカ肉流通対策事業については、イノシシ・シカの獣類を捕獲したときに、1頭当たり6千円を支給している。農政課で行っている補助金については、国の補助事業を活用した捕獲に対する謝金であると理解している。

問 水産林務課と農政課と担当課が分かれているのか。

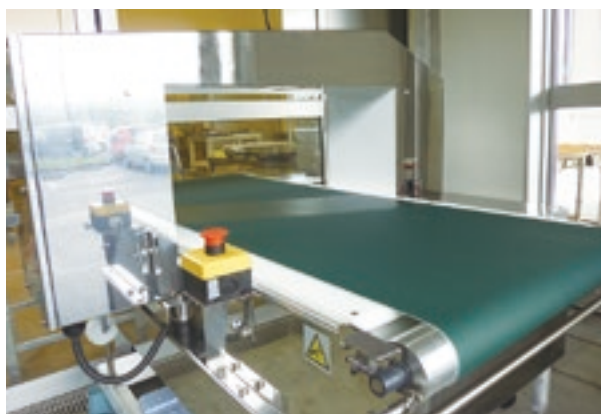
答 林務関係と農政関係と窓口を一本化して欲しいと、県に対する要望等も出ているが、今すぐ解決できるとは思っていない。県の所管課が違ふことによって、農政課と水産林務課となっている。

所管課 水産林務課

問 学校給食センターの金属探知機について、もう既に金属探知機は使用しているのか。また金属の探知はあったか。

答 昨年9月から使用している。冷凍された肉が、夏場などに少し溶け、ドリップを鉄と認識して反応したことはあるが、肉を調べても金属はなく、血液に反応することがある。

所管課 学校給食センター



学校給食センターに設置されている金属探知機

問 ふるさと納税の特産品発送の中で、2500万円のふるさと納税に1千万円の返礼品という話を聞いたが、2500万円の納税に対して1千万円のお礼をするのか。

答 返礼品については、寄附額の約半分を予定しているので、1千万円というのは今回の増額見込みが1千万円ということである。

所管課 商工観光課

議案第3号、平成27年度阿久根市簡易水道特別会計補正予算(第2号)
問 松ヶ根、大洲川の共同水道の取り扱いについては、その後どうなっているか。

答 平成28年度に、新水道ビジョン、またアセットマネジメント(資産管理)の委託計画をする中で、今から経営戦略を立てていかないといけないので、2地区の共同水道も、まずは給水区域の中に取り入れるという方向で動こうとしている。

所管課 水道課

その他の審議事項

●議案第2号 平成27年度阿久根市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

●議案第4号 平成27年度阿久根市介護保険特別会計補正予算(第3号)

●議案第5号 平成27年度阿久根市水道事業会計補正予算(第1号)

〈平成28年度当初予算〉

議案第18号、平成28年度阿久根市一般会計予算

問 行政事務連絡員の報酬の積算根拠は何か。

答 職員の給与、4級15号級を基本として、その額の6割を報酬として支払っている。計算方法としては、均等割として、額の6割を77区で割り、残りの4割のうち3割を戸数割として、全体の区の戸数で割って、その該当区の加入戸数に掛ける。残りの1割については、距離割として、市役所から該当区の公民館までの距離を算出した単価に基づいて、計算している。

所管課 総務課

問 生活困窮者自立相談支援事業の判定基準と支援内容について

答 本事業は、平成27年4月から施行された生活困窮者自立支援法に基づき生活に困っている方に対しての相談窓口として、福祉事務所の設置自治体が事業実施することになっている。お金の問題や、健康上の問題、就労の問題等について、相談員が話を聞き、生活保護が必要だと思われる方については生活保護係に引き継いでいる状況である。

所管課 生きがい対策課

問 壮年世代新規就農給付金について、45歳から55歳と限定してある根拠は何か。

答 青年就農給付金が45歳までであり、これは国からの補助100パーセントの事業である。45歳以上の方が新規就農するのに、何か手立てはないかということで、まずは55歳までということにスタートしたい。

所管課 農政課

問 財産管理費の電気配線調査業務というのはどういった内容なのか。

答 旧国民宿舎施設について、4月から休館が予定されているが、施設の電気配線の調査やキュービクルの改造等を行い、必要最小限度の電力を受電するために行うものである。

所管課 財政課

議案第19号、平成28年度阿久根市国民健康保険特別会計予算

問 一般会計繰入金について、前年度が3億5千万、今回は2億円ほど増えて5億5千万、これは大幅な増加だが、この原因と将来の見込みについてどのように考えているか。

答 国庫補助及び療養給付費等負担金の減額が大きな要因と考えている。将来的には、医療費がこの水準で推移していけば、同じような額の繰り入れは必要かと思う。

所管課 健康増進課

議案第21号、平成28年度阿久根市交通災害共済特別会計予算

問 毎年、積立金が増えていく状況の中で、条例改正をするなりして、交通災害共済基金を交通安全のための施設整備やソフト事業に使えるような方策を検討すべきだと思うが。

答 基金の残高の在り方を含めて前向きな検討をさせていただきたい。

所管課 総務課

そのほか、委員より北薩のめぐみ魅力アップ支援事業について、折多小学校の児童の安全対策について、市有林の森林保険について、大川診療所の運営について、放課後児童クラブの家賃についてなどの質疑がありました。

その他の審議事項

●議案第20号 平成28年度阿久根市簡易水道特別会計予算

●議案第22号 平成28年度阿久根市介護保険特別会計予算

●議案第23号 平成28年度阿久根市後期高齢者医療特別会計予算

●議案第24号 平成28年度阿久根市水道事業会計予算

平成28年第 1 回定例会 議案及び審議結果

番 号	内 容	結 果
	竹原信一議員に対する懲罰の件（平成27年12月 9 日の発言に関する件）	陳謝(多数)
議案第 1 号	平成27年度阿久根市一般会計補正予算（第 5 号）	可決(多数)
議案第 2 号	平成27年度阿久根市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）	可決(多数)
議案第 3 号	平成27年度阿久根市簡易水道特別会計補正予算（第 2 号）	可決(全員)
議案第 4 号	平成27年度阿久根市介護保険特別会計補正予算（第 3 号）	可決(全員)
議案第 5 号	平成27年度阿久根市水道事業会計補正予算（第 1 号）	可決(全員)
議案第 6 号	阿久根市過疎地域自立促進計画（平成28年度～平成32年度）について	可決(多数)
議案第 7 号	出水地区視聴覚教育協議会の廃止について	可決(全員)
議案第 8 号	阿久根市空家等対策協議会条例の制定について	可決(全員)
議案第 9 号	阿久根市行政不服審査会条例の制定について	可決(多数)
議案第 10 号	行政不服審査法等の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について	可決(全員)
議案第 11 号	阿久根市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決(全員)
議案第 12 号	阿久根市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決(全員)
議案第 13 号	市長等の給与に関する条例及び阿久根市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決(多数)
議案第 14 号	一般職に属する職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決(多数)
議案第 15 号	阿久根市職員等の旅費に関する条例及び阿久根市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決(全員)
議案第 16 号	阿久根市子ども発達支援センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決(全員)
議案第 17 号	阿久根市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定について	可決(多数)
議案第 18 号	平成28年度阿久根市一般会計予算	可決(多数)
議案第 19 号	平成28年度阿久根市国民健康保険特別会計予算	可決(多数)
議案第 20 号	平成28年度阿久根市簡易水道特別会計予算	可決(全員)
議案第 21 号	平成28年度阿久根市交通災害共済特別会計予算	可決(全員)
議案第 22 号	平成28年度阿久根市介護保険特別会計予算	可決(全員)
議案第 23 号	平成28年度阿久根市後期高齢者医療特別会計予算	可決(全員)
議案第 24 号	平成28年度阿久根市水道事業会計予算	可決(全員)
議案第 25 号	平成27年度阿久根市一般会計補正予算（第 6 号）	可決(全員)
議案第 26 号	平成27年度阿久根市一般会計補正予算（第 7 号）	可決(全員)
請願第 1 号	南九州西回り自動車道サービスエリア等建設に関する請願書	採択(全員)
平成27年 陳情第 14 号	新規創業者（予定者）を支援する補助金の創設の陳情書	採択(全員)
陳情第 3 号	鹿児島県知事に対し、九州電力に川内原発の免震重要棟の早期建設を求めるよう要請する意見書の採択を求める陳情	継続審査
陳情第 4 号	九州電力に対し、川内原発の免震重要棟の早期建設を求める意見書の採択を求める陳情	継続審査
陳情第 5 号	精神障がい者の交通運賃割引を求める意見書提出を求める陳情書	採択(全員)
意見書第 1 号	九州電力川内原子力発電所に免震重要棟を早急に建設することを求める意見書	継続審査
意見書第 2 号	九州電力への厳正な指導・監督を求める意見書	可決(全員)

番 号	内 容	結 果
意見書第 3 号	精神障がい者の交通運賃割引を求める意見書	可決(全員)
意見書第 4 号	南九州西回り自動車道サービスエリア等建設に関する意見書	可決(全員)
	竹原信一議員に対する懲罰の件（平成28年 3 月 3 日の発言に関する件）	戒告(多数)

平成28年第 1 回定例会議決結果 （賛否が分かれた案件のみ）

議 案 名	議員名（議席番号順）															議 決 結 果	討 論	
	白石 純一	渡辺 久治	濱田 洋一	西田 数市	竹原 信一	仮屋園 一徳	竹原 恵美	野畑 直	中面 幸人	大田 重男	濱崎 國治	牟田 学	濱之上 大成	山田 勝	岩崎 健二			木下 孝行
竹原信一議員に対する懲罰の件 （平成27年12月 9 日の発言に関する件）	◇	◆	◇	◇	－	◇	－	◇	◆	◇	◇	◆	◇	◆	◇	－	陳謝 の 懲罰	反対：－ 賛成：－
平成27年度阿久根市一般会計補正 予算（第 5 号）	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	－	可決	反対：－ 賛成： 1
平成27年度阿久根市国民健康保険 特別会計補正予算（第 2 号）	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	－	可決	反対： 1 賛成：－
阿久根市過疎地域自立促進計画 （平成28年度～平成32年度）につ いて	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	－	可決	反対：－ 賛成： 1
阿久根市行政不服審査会条例の制 定について（修正案）	◆	◆	◆	◆	◇	◆	◇	◆	◆	◆	◆	◇	◆	◆	◆	－	否決	反対：－ 賛成： 1
阿久根市行政不服審査会条例の制 定について（原案）	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	－	可決	反対：－ 賛成：－
市長等の給与に関する条例及び阿 久根市議会議員の議員報酬及び費 用弁償等に関する条例の一部を改 正する条例の制定について	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	－	可決	反対： 1 賛成：－
一般職に属する職員の給与に関す る条例の一部を改正する条例の制 定について	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	－	可決	反対： 1 賛成：－
阿久根市消費生活センターの組織 及び運営等に関する条例の制定に ついて	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	－	可決	反対：－ 賛成：－
平成28年度阿久根市一般会計予算	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	－	可決	反対： 2 賛成：－
平成28年度阿久根市国民健康保険 特別会計予算	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	－	可決	反対： 1 賛成：－
竹原信一議員に対する懲罰の件 （平成28年 3 月 3 日の発言に関する件）	◇	◇	◇	◇	－	◇	－	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	－	戒告 の 懲罰	反対：－ 賛成：－

※木下孝行議員は議長職のため特別多数議決以外の議案については、表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。

※懲罰に関する件については本人及び親族である議員は議事に参与できず表決権はありません。

（表の見方）◇は賛成、◆は反対

討 論

各議案に対する討論のあった主な内容は以下の通りです。

議案第1号 平成27年度阿久根市一般会計補正予算(第5号)

賛成 竹原 恵美 議員

将来に向けた計画が着実に行えるよう、弾力性が確保される財政運営を求めて賛成する。

議案第2号 平成27年度阿久根市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

反対 竹原 恵美 議員

大川診療所は、運営の検討をするべきでありながら問題の先延ばしをしてきた。早期に対策が図られるよう期待する。

議案第6号 阿久根市過疎地域自立促進計画(平成28年度～平成32年度)について

賛成 竹原 恵美 議員

市民が、安くて高いサービスを求めるには、共生・共働で市民自身がお互いを補完する仕組みが必要である。この計画のとおり市民の活動が活発に行われるようきっかけや仕組みづくりを求める。

議案第9号 阿久根市行政不服審査会条例の制定について

修正案に賛成 竹原 恵美 議員

審査会の定数に自由度があり公平正・中立性を支える委員定数をその時々運営に任せている現状を議会が見逃してはならないと考える。旧態依然の形式を一つ一つ改善していくよう求める。

(※修正内容 委員定数5人以内を3人以上5人以内等)

議案第13号 市長等の給与に関する条例及び阿久根市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

反対 竹原 恵美 議員

この議案には、2つの問題点がある。特別職報酬等審議会は、今期と同じ削減率のことだけ審議し、実質給与が上昇することについて全く知らされずに審議している。また、市長等の給与、市議会議員の報酬について人事院勧告の値をそのまま使用していることが問題である。

議案第14号 一般職に属する職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

反対 竹原 恵美 議員

職員給与の仕組みも時代に合わせ変えていかなければならない。これから阿久根市として時代にあっ

た変革を求める。

議案第18号 平成28年度阿久根市一般会計予算

反対 竹原 恵美 議員

中学校卒業時に全卒業生へ交付している卒業祝い商品券については、所得制限を設けるか廃止し、医療費無償化を18歳まで拡充することを要望する。

反対 竹原 信一 議員

保育所は正規職員と嘱託職員の給与格差が大きい。財政課は住宅法を理解していない。市民会館は業者との信頼関係でやっている。

議案第19号 平成28年度阿久根市国民健康保険特別会計予算

反対 竹原 恵美 議員

大川診療所の利用者の要望と、診療所の長期的な視野に立った展望を示すよう要望し、現状を検討することなく運営を続けることに反対する。

請願第1号 南九州西回り自動車道サービスエリア等建設に関する請願書

賛成 竹原 恵美 議員

阿久根市には、これから新しい市有施設が増えること、また、老朽化した施設が多くあり、切り替えていく必要がある中で、市の健全運営と将来への投資へのバランスがとれる

よう進めることを求める。

意見書第2号 九州電力への厳正な指導・監督を求める意見書

賛成 竹原 恵美 議員

九州電力の安全能力や適性を疑われる行為があり、原発近隣地の阿久根市は、不安をかかえている。安全対策が、レベルを下げることなく遅れることなく実行されるよう求める。

賛成 渡辺 久治 議員

九州電力に対して、新規制基準への対策が決して安全性のレベルを下げることなく、厳正な指導監督をなされることを求める。

請願・陳情・意見書

請願第1号 南九州西回り自動車道サービスエリア等建設に関する請願書

請願内容

阿久根商工会議所から、当市での南九州西回り自動車道建設に際し、景勝地である牛之浜海岸が見える場所に物産館を併設した大規模なサービスエリア等建設について要望し、鹿児島県及び国に対して建設実現に向けての意見書の提出を求めるもの。

結果 全会一致で採択し、執行機関に送付。処理の経過と結果の報告を請求した。また関係機関に意見書を提出した。

平成27年陳情第14号 新規創業者（予定者）を支援する補助金の創設の陳情書

陳情内容 阿久根商工会議所から、将来を担う若者らの創業・起業への円滑支援、市外からの創業者の誘致、空き店舗解消などに資する補助金制度、支援ネットワークの創設を求めるもの。

結果 全会一致で採択

陳情第5号 精神障がい者の交通運賃割引を求める意見書提出を求める陳情書

陳情内容 市外在住者及び市民から、精神障がい者も身体障がい者や知的障がい者と同等に交通運賃割引制度の適用を国に対して求める意見書の提出を求めるもの。

結果 全会一致で採択し、関係機関に意見書を送付した。

意見書第2号 九州電力への厳正な指導・監督を求める意見書

意見書内容 竹原恵美議員ほか1名からの提出で、九州電力が原子力規制委員会の新規制基準への適合性を確認する審査へ申請した内容に対して早急に行われるよう指導・監督、対応については厳正な対処を求めるもの。

結果 全会一致で可決。関係機関に送付。

南九州西回り自動車道サービスエリア等建設に関する意見書

平成27年3月29日に開通した、南九州西回り自動車道「阿久根北IC～阿久根IC」間は、阿久根市初の高規格幹線道路であり、また、長年の懸案であった「阿久根～薩摩川内水引」間（約22km）も、「阿久根川内道路」として平成27年に新規事業化が決定され、同自動車道の全線開通に向け、地元住民の機運はさらに高まっている。

南九州西回り自動車道は、広域的な交流ネットワークの形成に必要な幹線道路として地域活性化に大きく寄与するとともに、災害時における広域避難や物資輸送にも重要な役割を果たすものであり、早期の全線完成は地域全体の強い願いである。

このように、本市としては、南九州西回り自動車道の全線開通に向けて、強い熱意と大きな期待を持つ一方で、国道3号のバイパス機能も併せ持つ、同自動車道の利用拡大により、阿久根市への人や車の流れの減少や阿久根市が通過点になるのではないかと懸念もあるところである。

今後、魅力あふれる地域づくりをさらに進めていくためには、阿久根市が持つ多面的な魅力の創出や、地場産品やサービスを提供する空間（施設）が必要であり、南九州西回り自動車道の全線開通を見据えた取り組みが急務となっている。

そのような中、鹿児島県内で桜島に次ぎ、平成26年度に「名勝」として、県の文化財指定を受けた牛之浜海岸を本市は有しており、また、同付近は南九州西回り自動車道が全線開通した場合、市来インターから芦北インターまでの無料区間のほぼ中間の位置ともなっている。

このようなことから、鹿児島県を代表する景勝地であり、風光明媚な牛之浜海岸付近に物産館を併設した大規模な南九州西回り自動車道のサービスエリア等の建設について、県北薩地域の魅力あふれる観光拠点施設として整備を強く要望するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年3月25日

鹿児島県阿久根市議会

より良い市政を目指して

一般質問

— 市政を問う —

平成28年第1回定例会では、8名の議員が一般質問を行いました。

【質問者】

(質問順)

- | | | |
|---|-------|----|
| ① | 渡辺 久治 | 議員 |
| ② | 濱田 洋一 | 議員 |
| ③ | 山田 勝 | 議員 |
| ④ | 野畑 直 | 議員 |
| ⑤ | 竹原 信一 | 議員 |
| ⑥ | 白石 純一 | 議員 |
| ⑦ | 濱崎 國治 | 議員 |
| ⑧ | 竹原 恵美 | 議員 |

掲載内容については、それぞれの議員が行いました一般質問の主な項目についての質問と答弁の要旨であり、質問者が責任をもってまとめたものです。

問

サービスエリア等に関する方針をいつまでに出すのか

答 平成28年度から実質的な検討を進めたい

渡辺 南九州西回り自動車道のサービスエリア等に関する首長としての方針をいつごろまでに出すのか。

市長 サービスエリア等については地域振興の重要な課題である。平成28年度から、実質的な検討を進めたい。

渡辺 『寺島宗則記念館』の整備を目指す場合、微妙な時期にきている。阿久根市としての出方を真剣に考えるべきと思うがどうか。

市長 協本にある生家の老朽化も含め、どうしていくかが課題である。現在、所有者が外国に在住で、この春先に帰って来られるので、今後、所有者のご意見を伺いながら、どのような活用ができるかを考えたい。

渡辺 今回の地方創生『総合戦略』は、遊び心がないというか、具体性に乏しいと感じる。策定する中で、腹を割った忌憚のない意見交換があったのか。執行部の風通しが芳しくないのでは。

市長 阿久根の将来を担う若手の議員の意見を積極的に登用すべきと考え、また行政慣れしていない意見に期待し、40才以下の職員でのプロ



渡辺 久治 議員



生ごみ収集の様子

生ごみ堆肥化モデル事業について

渡辺 今の段階で、はっきり成果をあげている。なるべく早い時期に正式事業として市内全域に実施を広げていただきたい。

市長 この事業はごみ減量にはかなり効果があった。今後、さらに事業効果等を見極めて検討していく。

問 漁業後継者就業支援事業について

答 40歳未満の自営漁業者への支援を行う

濱田 漁業後継者就業支援事業の具体的な内容は何か。

市長 平成28年度から新規事業として実施し、就業から最長2年間を限度として、年間1人当たり150万円の交付金を支給する。

濱田 応募したい方への周知方法はどのように考えているか。

市長 市のホームページや広報、フェイスブック等での周知を図る。

濱田 漁協の組合員でなければ、対象者として該当しないのか。

市長 漁獲物の流通、漁船の手続き、共同漁業権内での操業など漁協での手続きが必要であることから、正組合員になることを条件としたい。

濱田 壮年世代新規就農者支援事業について、目的は何か。

市長 新規就農者の確保・育成を図り、あわせて阿久根市における第一次産業を守ることを目的とする。

濱田 事業の具体的な内容は何か。

市長 壮年世代とは、45歳以上55歳未満であり、就農してから2年間給付金を交付し、給付期間1年につき1人当たり100万円とする。また、認定新規農業者であり、農業経営者

となることについて、強い意志を有していることが必要である。

濱田 現在、青年就農給付金事業もあるが、これに加え新たに壮年世代に対する新規就農者支援事業も計画されており、第一次産業と「食の関連産業」の活性化を図るとともに、持続可能な地域経済と雇用の創出を実施するため、執行部と議会が一体となって取り組んでいかなければならないと改めて思った次第である。

出会いサポート事業について

濱田 具体的な事業内容は何か。

市長 結婚に向けたコミュニケーション術等を学ぶ講座、海や山、食や歴史などの阿久根の資源を活用した出会いのイベント等の開催を行う。



濱田 洋一 議員

問 阿久根市創生の具体的な取り組み効果は

答 市の産業振興と創生につなげたい

山田 ふるさと納税は、お礼として贈る品物によって納税額が決まる。阿久根市でできる唯一の財源確保と産業振興につながる。お礼の品物は阿久根市で生産・製造された商品

を贈れば、これ以上の産業振興はなく、ふるさと創生そのものだが、今年は更に充実するため専門の部署を設置して積極的に取り組む考えはないか。

市長 使途を明確にし、経済の活性化を図るため商工観光課の職員を増員し返礼品の充実とPRを図り、多くの寄附をいただけるように努める。



あぐね応援寄附金のパンフレット

山田 本年度予算で計画されている「バーベキュー大会」が千人規模と計画されているが万人の集客を目指し、大会に使う道具、材料、食材は市内で調達し、これを機会に市内の業者、農家を育てる事が阿久根の

産業振興と創生につながる。市長の覚悟を聞きたい。

市長 阿久根産の牛肉、豚肉、鶏肉、有害鳥獣として捕獲したイノシシ、シカ肉、市内で生産された水産加工品、野菜など安心安全な食材を活用し、より多くの人に集まってもらい阿久根市の産業振興と創生につなげたい。

山田 阿久根の創生一年目の一大イベントとして市長が先頭に立って市民も一緒に取り組む気持ちがあるか。

市長 市民の方にもボランティアを呼びかけ、市民、議会、職員一緒に取り組む。

山田 市民の健康づくりのためラジョイ体操が計画されているが多くの市民が参加するための具体的な計画は。

市長 市民の方に複数人で登録をしていただき実績によって表彰と市報で知らせたい。



山田 勝 議員

問 職員の継続的な給与削減について

答 本市の将来にマイナス面が大きく、早い時期に適正な給与体系を考える

野畑 平成26年と平成27年の県内19市のラスパイレース指数の平均値と、阿久根市のその数値はいくらか。

市長 平成26年が県内平均98・4、阿久根市が88・4、平成27年は県内平均98・5、阿久根市は92・2である。

野畑 職員給与について、減額を続けているが、いつまで行う考えか。

市長 他の自治体の給与レベル、給与削減の取り組み状況、職員の職務に対するモチベーションの維持や人材確保、将来にわたる市の財政状況の見通しなど総合的に判断したい。

子育て支援対策について

野畑 高校生までの医療費の無料化について、隣接の出水市も長島町も実施しているので、阿久根市も実施してもらいたい。

市長 無料化を検討したが、中学生では全体の4分の1の生徒しか医療費助成を受けていない。事業の投資効果、公平性等を検討した結果、阿久根市卒業祝い商品券支給事業を実施することになった。



野畑 直 議員

野畑 市P連母親委員会の役員と、議員と語る会でも無料化して欲しいとの意見があった。また、他の議員にも意見を聞いたが反対の議員はいなかった。提案されても否決されることはないと思う。ぜひ、近隣市町並みの助成をしていただきたい。

市長 高校生までの医療費の無償化は一部の方々に偏ることになる。長島町が始めたから阿久根市も取り組みというわけにはいかない。

花火大会について

野畑 実施時期については、市民の要望を踏まえ、夏に開催できないか。

市長 みどころい祭り反省検討会で協議した結果、今年も花火大会については秋に開催することとなった。

問 なぜ、できる体制づくりをしないのか

答 業者との信頼関係でやっている

市民交流センターについて

竹原 駅は失敗して一億円が二億円になった。西平市長は指導できないというのをわかっているのか。なぜ、できる体制づくりをしないのか。

教育総務課長 技術的にできない部分があるから委託をしており、共同設計ということで設計業者であるナス力とは信頼関係でやっている。

竹原 「信頼関係」と言ってしまうとは、責任能力がないという事だ。

旧国民宿舎について

竹原 今の状態になる前に売却を検討しなかったのはなぜか。

市長 逆に聞きたい。早い時期に引受先があった状況があったのか。

竹原 募集に手を挙げた業者があった。西平市長が売却に取り組まなかったのはなぜか。

市長 募集に手を挙げた業者は自ら手をおろした。また、売却すれば問題があるかもしれないと考えた。後に耐震の問題が出たので売却しなかったのが結果的には良かった。

市営住宅などの整備

竹原 仕事が遅い。市営住宅の水洗化も進んでいない。住民に申し訳ないと思わないのか。西平市長は水洗化について指示をしたのか。

市長 利用者の方々の生活の向上につながるから、検討するべきであると指示をした。



改善前（上）と後（下）の市営住宅



竹原 信一 議員

問 再生可能資源の利活用は

答 資源の地産地消で地域エネルギー事業を

白石 利活用が考えられる再生可能資源、導入検討できる市施設は。木材のエネルギー以外の活用は。

市長 太陽光、風力、水力、潮力、バイオマス等実現性を調査、地方創生加速化交付金も活用し、資源の地産地消で地域エネルギー事業を構築する。28年度はバイオマスでの農業再生調査を。検討可能な市施設は温水プール、交流センター、農村環境改善センター等か。木材はバイオマスほか、公共建築、住宅等有効活用したい。間伐イベント「きらめ樹」も林業振興や婚活に活用できる。

白石 再生資源は生ごみ、家畜糞尿、人のし尿、魚の残さ、焼酎絞りかす、竹も。エネルギーの域内自給自足を。



間伐「きらめ樹」は女性・子ども

*バイオマス…再生可能な生物由来有機性資源で化石資源を除くもの。

原発の航空機衝突・テロ対処施設の早期完成、免震棟問題解決を

白石 川内原発に航空機衝突・テロ等重大事故対処施設がない。対処施設の早期完成を求めるべきでないか。また免震重要棟の建設撤回問題も解決されるよう働きかけられたい。

市長 重大事故等対処施設は平成32年までが設置猶予期間だが、一日も早い整備を望む。免震重要棟は、変更許可申請がなされているが、規制委員会の指導、審査に基づき、事業者が安全確保に努めるべきと考える。

その他の質問

Ｊリーガーを6名輩出した少年サッカーは地域資源である。積極支援で街の活性化に寄与すると考えるが。



白石 純一 議員

問 地元企業への雇用確保の支援策は

答 就労支援は必要であり検討する

濱崎 地元の企業の人材の確保ができなく困っていると聞く。新卒者や若者が地元企業に就職した場合、採用した企業への助成金や就職者への給付金などの支援策の考えはないか。

市長 人材の確保は必要であり、地元就職する若者やＵターンなどによる移住・定住者を増やすためにもどのような支援策が求められているか把握し、支援のあり方を検討する。

濱崎 求人紹介は、ハローワークなどからの情報はあるが、なかなか雇用につながる。市内で求人希望する企業の業務内容、給与、福利厚生などを紹介する就職ガイドを市で作成し、地元企業への就職者を増やす支援策はできないか。

市長 地元企業の雇用を確保するため、どのような方法があるか、商工会議所とも協議し検討したい。

集落住民の安心安全対策について

濱崎 集落では世帯数の減少もあり、防犯灯の維持管理に困っている。耐久性のある鋼管柱やLED照明へ市全体分を整備する考えはないか。



LED照明の防犯灯

市長 市全体の防犯灯を整備するとなれば多額の経費が必要であり難しい。

濱崎 防犯灯は、原子力発電施設の大規模な事故が発生した時の避難にも役立つ。原子力関係交付金を活用して整備するため、概算事業費を調査する考えはないか。

市長 交付金の活用は、優先順位の検討が必要。必要な概算事業費の計算是できると考える。



濱崎 國治 議員

問 市長等、議員の期末手当の増額は不適切ではないか

答 これまでも国の特別職の国家公務員の給与改定に伴って改定している

竹原 人事院勧告は地方に行くほど実態とかけ離れているという研究結果がある。目の前の市場を見ずに、今回、人事院勧告の値をそのまま使うのは不適切ではないか。

市長 ほかに判断する基準がないことが大きな問題だと思っている。今回もこれまでと同じ取り扱いを行った。

市民による自主活動について

竹原 阿久根市過疎地域自立促進計画案には多くの市民活動とリーダー育成・後継者育成が書かれている。市民が安くて良いサービスを得たいなら、市民自身がお互いを補完する関係として活動を行う仕組みが必要と考えるが、今はまだない活動項目などには、市がリードして作っていく必要があるのではないかと。

市長 現在、市は地域の課題解決や活性化につながる活動の支援のための、地域づくり支援助成金の交付と、中心的な役割を担っていただけの方を中心に研修会、先進地視察などに参加してもらっている。



竹原 恵美 議員

その他の質問

- ・市民交流センターの名称について
- ・いじめの案件に対する、第3者委員会について
- ・各種委員会条例の委員定数について

竹原 出水市の新庁舎建設では、市有林の伐採、加工をして利用する計画である。阿久根市も交流センター建設に市有林の木を生かしてはどうか。

市長 活用できる樹木のある市有林はあるが、コスト、乾燥期間など総合的に検討していく。

市民交流センターへ市有林の木材を活用してはどうか

議会を傍聴しませんか。

市議会は、市の予算や施策について話し合い、決定する大切な場所です。
ぜひ傍聴にお越しください。

学校の社会科見学やPTA、各種団体等の研修でも傍聴できます。

- 本会議はだれでも傍聴できます。
- 傍聴の際は、傍聴席入口にある受付簿に住所、氏名を記入してください。
- 傍聴席の場所は議場裏の階段を上がり、4階になります。

☆「生中継」もご利用ください。

本会議開会中は、市のホームページから議会の様子が生中継で見ることができます。

☆録画中継も配信中！

※録画中継についてはホームページのリニューアルに伴い平成26年第4回定例会から配信しています。



議員と語る会

阿久根市消防団・PTA母親委員会と開催しました。

開催状況

○2月17日

阿久根市消防団・消防分団・女性消防隊 42名（市民会館）

○意見交換テーマ

- ・「団員の確保について」
- ・「装備品の充実について」
- ・「活動時における団員の安全確保について」

主な意見等

「団員の確保について」
・定数30名のうち18名が市職員であ



市消防団等との意見交換会
（平成28年2月17日）

「装備品の充実について」

- ・チェーンソーが各分団に入ることだが、使用に際して研修をすべきと思うが。（議員）
- ・安全性が大事であり。研修を受けさせ資格取得させる。（団長）
- ・装備品の充実をしていたくはありますが、消防団員が、消防署員の位置づけまでされているのかと思う時もあった。

「活動時における団員の安全確保に

ついて」

- ・安全確保について保護具を充実してほしい。
- ・チェーンソーや刈払機、車両など点検係が必要で、安全対策をすることが大事（議員）

○2月18日

阿久根市PTA連絡協議会母親委員会 20名（市民会館）

○意見交換テーマ

- ・「子育ての環境」
- ・共働きやシングルマザーの現状について、病児保育施設整備について
- ・「子どもの学力について」

基礎学力向上についての取組

主な意見等

「子育ての環境」

- ・共働きのシングルマザーの現状について、大川から夜間の病院が遠い。また収入が少ない。保育園・幼稚園で父親・母親の役割について、お互いを理解する大切さを教育していただきたい。
- ・病児が普通学校へ通う際、子供や親のサポート体制の充実を図ってほしい。
- ・災害のときに預かってくれるところがなく、受け皿になつてくれるところがあればいい。また休みやすい環境を企業にも働きかけてほ



市PTA連絡協議会 母親委員会との意見交換会（平成28年2月18日）

「子どもの学力について」

- ・複式学級の子どもは、半分は自習で、授業は半分しか受けられない状況で、学力を身につけるのは難しい部分がある。制度を利用して、支援の人を付けていただくか、統合を進めてほしい。
- ・基礎学力向上のためにも学校教育支援教員配置事業に力を入れてほしい。
- ・家庭学習も大切だが、それに伴ってサポートしてくれる場所があれば、非常に助かると思う。

市議会では、現在、総務文教委員会で継続して審査を行っている免震重要棟に関する陳情及び意見書についての参考とするため、4月25日に川内原子力発電所へ行き、緊急時対策所の様子を含め、安全対策の取り組みについて視察を行いました。

4 月			3 月			
28 日	25 日	21 日	8 日	3 日	25 日	20 日
会	久根高校跡地活用検討に関する調査特別委員会	川内原子力発電所視察	鹿兒島県市議会議長会定期総会	産業厚生委員会	近畿地区阿久根会	典 長島町施行10周年記念式典 本会議（表決）
広報広聴委員会						



○平成28年熊本地震災害に
対する義援金について

※ 議会だより、議会傍聴に関するお問い合わせは、市議会事務局まで。
TEL (72) 0815

F	T
A	E
X	L
$\widehat{\binom{7}{2}}$	$\widehat{\binom{7}{2}}$
2	0
0	8
2	1
9	5

(委員 竹原 信一)

議長 長木 下孝行

委員長 白石純一	副委員長 渡辺久治	委員長 濱崎國治
-------------	--------------	-------------

濱田洋一
竹原信一
仮屋園徳一